

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年6月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高山市	代表者名	國島 芳明
担当者部署	行政経営課	連絡先電話番号	0577-35-3040
担当者役職	主幹	担当者氏名	山田 雅彦
住所	506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	忙しい中にも事前にしっかり資料に目を通していただき、的確なご助言、ご指摘をたくさんいただけたため。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年6月16日	16時00分	17時20分		80
	派遣形態	支援・助言 (オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 課長、係長、係員	人数 4 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) DX推進計画の骨子案に対するご助言をいただきたい。他市などの参考事例があればご紹介いただきたい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DX推進計画の骨子案の文面の改善、修正	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進計画を誰に読んでもらいたいのかターゲットを明確に。表現にカタカナを多用すると字面はよくても伝えたい人に届かないこともある。UXを主軸に置くのはとてもいいこと。EBPMはとても大事な視点で少ない資源でいかに効果を上げていくかの視点も盛り込めるとよくUXの向上の上でも大事。具体策がたくさんあるが、タイムライン上に落とし込んでロードマップを示せると整理がつく。KPIと進捗管理公表はアメリカのデータ戦略をダッシュボードで示す方法を参考に。無償版BIツールの活用もよい。推進体制には指示系統を明確にしておいた方がよい。外部有識者は誰に助言するのも明確に。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	骨子を修正、改善するポイントが明確になり、よりよいものが出来上がる道筋がついた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入下さい)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	本年10月にDX推進計画の策定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

